

2nd NCU/CHUO Chemistry Workshop 開催報告

国立中央大学（NCU）の化学科と中央大学の応用化学科では、懇意な教員の交流があり、2011年に国立中央大学（台湾）と中央大学が協定校となったことを契機に、両大学が、学科間交流を継続的に続けていくことに合意しました。（2011年3月 石井学部長）内容は、教員の相互訪問や研究紹介、学生交換など多岐にわたる提案がなされています。昨年度、第一回のワークショップがNCUにて開催されました。（2011年12月17日（土））第一回目は、中央大学教員5名がNCUに来訪し、NCU側5名とあわせて、「有機・無機化学」をテーマに講演会を開催しました。

今回は、8月6日から8日の予定で「化学物質の物性と評価法」をテーマに第二回のワークショップを開催しました。NCU側6名の教授と博士研究員・博士課程後期の学生6名が来訪しました。中央大学側からは教員5名と助教5名・博士後期課程学生2名が口頭発表を行いました。

初日は、18時より Welcome reception を3号館10階にて行いました。最初に今井所長より挨拶をいただき、双方の教員・学生が懇談しました。2日目は教員による講演会が開催されました。どの発表においても、非常に活発な質疑応答がなされ、深い議論がなされました。また、応用化学科の大学院生を中心として、100名分準備した座席が埋まってしまうほどの参加者がおり、大変盛況な討論会となりました。夕方より、教員は浅草橋より屋形舟での懇親会を開催し、東京スカイツリーの見学をはじめ、お台場周辺を周遊しつつ、お互いのお土産を交換するなど、心温まる交流ができました。また、博士課程学生等若い人たちで、近辺の日本的な飲食店にて若者同士の交流会ももたれました。3日目は若手研究者たちによるプレゼンテーション、その後、応用化学科の大学院生によるポスター発表が開催されました。どの発表も活発な議論がなされました。その後、5号館を中心に研究室見学等を行い、終了しました。

また、本ワークショップでは、今後の具体的な共同研究に関する進め方についても議論されたことを申し添えます。次回は、それぞれの実施可能な共同研究相手とテーマを設定し、そのテーマに合致する教員が次回、台湾中央大学で開催される第3回ワークショップに出席して具体的な共同研究を開始することが提案されました。

敬具



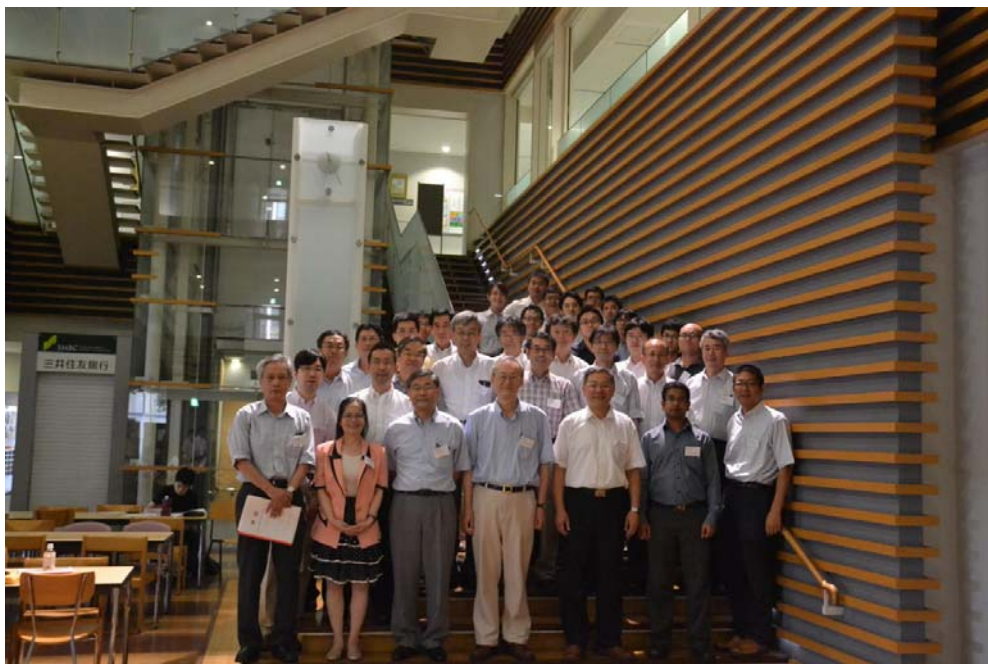
NCU 訪問団



会議に先立ち加藤副学長へ Prof. Lii より記念品の贈呈



講演会風景



発表者で集合写真（理工学部3号館1F）